

# Labyrinth

*By motorimoda*

TAKE FREE  
VOL.3



日本のみならず、世界のモーターカルチャースタイルを  
いち早く取り入れるMotorimodaでは、  
過去と近未来を縦横無尽に行き交い、  
皆様に「Wow!」なアイテムをご紹介します。  
最新のコレクション、モーターカルチャー、  
お客様やスタッフをクローズアップして  
皆様にご案内・ご紹介するタブロイド誌をお届けします。

# SHINICHIRO ARAKAWA

パリで服飾を学び、1993年に「SHINICHIRO ARAKAWA」を創立。パリコレデビュー後、バイク乗りとしての経験を活かし2007年からモーターサイクルウェアも展開。同ブランドを扱う「モトリーモダ」岡林道則氏と、バイクとファッションの関係を語り合った。

## ギアとして求められる機能性と ファッション性を両立した バイク乗りのオートクチュール

### 対談

Shinichiro Arakawa  
荒川真一郎

Motorimoda  
岡林道則

岡林：出会いは荒川さんからのラブレターでしたよね。「展示会に来てください」と手書きされていて、商品を知る前にすごく感動しました。

荒川：原宿の「H FREE」（荒川氏プロデュースによるHONDAのアパレルライン）の時ですね。ホンダとコラボレーションのきっかけはスタッフの父親がHRC（ホンダレーシング）関係者で「Tシャツを作って欲しい」と頼まれたことからです。僕はそれだけじゃ面白くないからと、ホンダアクセスから余っていた在庫を運ってもらってカスタムしたんです。そしたらビームスが取り扱ってくれることになって、最終的にホンダのウェルカムプラザ1階でファッションショーをすることになりました。そのショーをホンダ本社の方々が見に来ていて、そこからオフィシャルの仕事がくるようになったんです。

岡林：「H FREE」はバイクウェアというよりアパレルの延長にバイクがあって、その中に色気みたいなものも感じて強い衝撃を受けましたね。

荒川：基本的に自分が着たい服、普段着として

も着られて、バイクにも乗れるウェアを目指しています。その後、ライダーの鎌田学さんやクシタニさんと出あって、「プロテクターのちゃんとしたバイクウェアを作らないとダメだな」と思うようになりました。そのタイミングでクシタニさんとコラボすることになって、すごい衝撃を受けました。生産担当の人が汗かくでスクーターに乗って事務所まで来たんです。『今から仮縫いしましょう』と言って、仮縫いした1号のトワルを着て、そのまま東名へ走りに行っちゃったんです。

岡林：それはすごいですね（笑）。

荒川：帰ってきて「この辺がバタつくからダメ」と。何のことも分からなくて聞いてみたら、ウェアが風で振動するノイズがうるさいし、体も疲れる。あと、風が抜けないと袖が膨らんじゃうとか。そこからバイクウェアの面白さにハマりました。今モトリーモダに並んでいる服もちゃんと自分で走って確認しています。毎回毎回、新しいモデルが出せないのは、そのプロセスがあるからかもしれません。その上でバイクウェアにより過ぎないように気をつけています。モトリーモダで何度もオーダー会を開かせてもらっていますが、その時は必ずユーザーに「どんなバイクに乗っているか」「どんなスタイルにしたいか」を聞いて、それぞれの好みに合わせた提案をしています。

岡林：こんな感じでバイクウェアでオリジナルを1から作れるのは荒川さんだけですよ。フランスには“オートクチュール”がありますが、荒川さんはバイク用やドライブ用のウェアでやってる。荒川さんのような人がいなくなったら、このカテゴリー自体が存在しなかったかも。実は、僕も最初は「商売として成り立つかな?」と思いながらやっていたんです。



でも、徐々に荒川さんのコンセプトや考え、デザインに共感してくれる人が増えていきました。僕は今までいろんなブランドを扱ってきましたが、やっぱり“主張のあるブランド”が好き。荒川さんのブランドには、その軸がしっかりあるんです。「モトリーモダ」ってモーター×ファッションを意味しているんですが、荒川さんはまさにその体現者なんです。荒川：必要な機能は備えつつ、着たときにちゃんと“綺麗に見える”シルエット。無意識ではあるけれど、それが自分なりの軸になっているのかもしれない。最初よりあえずプロテクターを入れなきゃ」という感覚でしたが、今は目立たないように綺麗に仕上げたい。バイクや乗り方によって必要な動きは違うので、丈や裾の処理、シルエットの調整にも試行錯誤をしています。今置いてもらっているジャケットは、問題点をパターン（型紙）で解決した「NUDE（ヌード）」というジャケットです。まるで着ていないように自由で、動きやすさに驚く方が多いです。実際に自分も初めて着て首都高を走ったとき、あまりの快適さにヘルメットの中で笑ってしまいました。「うわ、これは楽だ!」って（笑）。ぜひ体験して欲しいと思います。

## ライドと冒険を実現する ハンドメイドのギア



### Interview with Siddharth Singh Trip Machine

インドのグルグラムで誕生した「トリップマシン」は、丁寧な手仕事にこだわったモーターサイクル用ハンドメイドレザーブランド。ブーツやサドルバッグなど、バイクでの旅と冒険を可能にする高品質なレザー製品を展開。創業者のシッダールト・シン氏にブランドの誕生からこだわりまで、モトリーモダの岡林道則氏がインタビューした。

使い込むごとに風合いを増していく  
ハンドメイドのレザーアイテムが魅力。

岡林：シッダールトさんがこの仕事を始めたきっかけを教えてください。

シッダールト：もともと銀行員でしたが、スプレッドシートよりバイクの方が理解できると気づいて辞めました。小さな工房で始まったこの仕事は、拡大することよりも、ライダーが本当に欲しいもの、昔ながらのモーターサイクルへの敬意を込めた、誠実な手作りギアにこだわっています。

岡林：ブランド名の由来を伺ってもいいですか？

シッダールト：バイクと旅という、たったふたつのシンプルな情熱から生まれました。私たちにあってバイクは単なる乗り物じゃなく、身も心も旅へ誘ってくれる相棒です。長く使えるギアを作って、それがライダーひとりひとりのロードストーリーの一部になって欲しいと思っています。

岡林：実際にブランドとして動き出したのはいつ頃からですか？

シッダールト：2016年に、ハンドルのグリップに巻くレザーラップを作ることから始まりました。当時はそんな細かい部分に注目する人はいませんでした。そこからタンクポーチや温故知新のアクセサリシリーズなど、新しいアイテムを生み出してきました。私たちの哲学はいつもシンプルです。定番を大切にしつつ、新しい解釈を加えること。使い込むほど味わいが増すフルグレインレザーを使い、時間をかけて丁寧に手作りしています。ブランドは、数本のレザーラップを作る場所から始めて、今

では30カ国以上で展開。それでも私たちは変わらず、「忙しい生活に寄り添う、スローメイドのギア」という理念を貫いています。私たちがインドで展開する「トリップマシンカフェ」は、その延長線上にあります。Jawa製の旧車が展示され、ライダー同士が集い、コーヒーとバイクを楽しめる空間となっています。

岡林：ブランドのコンセプトについて教えてください。

シッダールト：昔ながらのモーターサイクルへのオマージュです。ファストファッションに流されることなく、時間をかけて丁寧に、長く使えるギアを手作りしています。重厚なフルグレインレザーと伝統的な技法を用い、バイクではしっかり機能し、街中でもさりげなくカッコよくデザインされています。まずは目的、次にスタイル、そして何年経っても使える耐久性が大切です。

岡林：私との出会いは運命的なものだったのでしょうか？

シッダールト：はい、まさに運命的な出会いでした。「トリップマシン」はクラシックバイクへの愛から生まれ、日本の洗練されたモーターサイクル文化は、職人技や耐久性、そしてスタイルを重んじています。そんな世界と私たちを繋いでくれたのが、モトリーモダの道則でした。道則は、日本のライダーのために「大人のモーターサイクルスタイル」を提案し、私たちの公式パー

トナーとなりました。これから「モトリーモダ」を通じて、「トリップマシン」の製品を全国展開します。価値観もユーザーもマッチすることで、この出会いは本当に運命的だったと感じています。

岡林：最後に日本のファンへメッセージをお願いします。

シッダールト：日本でライディングを楽しむ皆様、私たちの「スローメイド」の考えを受け入れてください、ありがとうございます。街や山道で私たちの製品を見かけることは誇りです。興味ある人はぜひ一度使ってみてください。数週間ではなく何年も使い続けて、風合いを増すレザーを楽しんでください。実際に見て購入したい方は、モトリーモダ各店へ行ってください。たくさん走って、クラシックスタイルを楽しみ、ギアをあなたのストーリーの一部にしてください。



SHINICHIRO ARAKAWAは、自らもライダーであるデザイナー・荒川眞一郎氏が手がけるモーターサイクルウェアブランド。1989年に渡仏し、パリファッションウィークにも参加するなど、レディースアパレル分野で高い評価を獲得しました。1997年にはHONDAとのコラボレーションコレクション「SPEED&CRAFT」を発表するとともに、数々のファッションアワードを受賞しています。2007年からはバイクアパレルに特化した現在のスタイルへと移行。Motorimoda 創業期からタグを組み、別注やコラボモデルなど多数の人気作を発表しています。

# SHINICHIRO ARAKAWA



ラジジョ / Raggio SP ¥149,600

シンプルでレザージャケットながら、スロートタブを備えて防風性を高められるなど、細かなこだわりを感じさせる1着。柔らかなシンプレザーを採用したジャケットは、身体に沿うように馴染み、独自のパターンがさらに着心地の良い物にしております。



ブラック ホワイト

猫バッグ ウナ ¥14,850

タンクに吸盤(肉球)でセットできるこのバッグは、外出時の癒しアイテムとしてしっかりとバイクに取り付けることが可能です。ツーリング時のみに取り付けたりすることも可能なので「旅の記録」や「SNSへの投稿」を一緒に楽しむ可愛い相棒になってくれます。



ダークグリーン サンドベージュ ブラック

ポルターレ ¥23,650

ストレッチ性の高い細身のカーゴパンツは美しいシルエットと快適な履き心地を両立しています。太もも部のポケットは絶妙なバランスで配置。一般的にイメージするルーズフィットなカーゴパンツとは一線を画すスタイルを実現しています。膝には取り外し可能なニープロテクターを標準装備し機能性も充実。伸縮性の高い生地を採用により、長時間のライディングでも快適にご着用いただけます。

グレーグリーン



キャメル ブラック



COIR n P ¥66,000

Pコートタイプのライディングジャケット。身体の可動性が通常のウェアよりも多く、服が体へ与える負担が少ない構造のブルゾンに、ウール/ナイロン生地を使用し、定番アイテムとして企画されたシンプルな配色のジャケットです。



"ウナ" エア ¥3,850

Chat noir "UNA" の顔をモチーフにした AIR TAG ケース型レザーキーホルダーです。



ボーディング ヘルム 2ピン ¥16,500



スポーツマスク チューボ パズル ¥3,080



リプロ ¥4,950

デットストックのパンツがリメイクしてトートバッグに生まれ変わりました。過去の商品をご存知の方には懐かしい素材が見つかるかもしれません。



H08 n コーデュラ ¥83,600

アウトターシェルに高性能素材の代名詞、コーデュラ®を採用したバイク用ダウンジャケット。



スクード 154,000

オープンカー(欧州車)のシート等に採用された「カーレザー」の熱を伝えにくい特性を生かし、スポーツバイクの発生する排気管の熱からライダーを守り、快適かつスタイリッシュなライディングを提供するためのレザーパンツです。



タブレット 24 ¥8,580

表地は柔らかな縦横ストレッチのポリエステル100%。裏地はムートン調ポアで保温性も良い生地を使用したネックガード。



ブラック カーキ

SA ウィンター パンツ ¥32,780

コットン/ポリエステルを微撥水生地を使用した冬のシンプルなパンツです。裏地にはアリス素材のストレッチ生地を全面に使用。背面のプリントはリフレクタープリントになっており夜間走行での安全性を考慮しております。



# TRIPMACHINE company

Trip Machine(トリップマシン)は、機械化が進む現代において、あえてハンドメイドにこだわるクラフトブランドです。大量生産では実現できない「芸術的なモノづくり」を信条とし、「機械は製品を作り、手は芸術を作る」という哲学のもと、心を込めた製品づくりを追求しています。



レガシー サドルバッグ(左右ペア) ¥74,800

レガシー サドルバッグ(片側単体) ¥39,600

収納容量は片側13リットルの左右合計26リットル。コンパクトながら重厚なデザインで、スタイリッシュに旅をお楽しみいただけます。もちろん普段使いにもご使用可能。利便性の高い新作バッグが誕生しました。専用のサドルステーが付属、スライド&スナップの簡単な操作で、わずか数秒でバッグの着脱が可能です。



サースト エイド キット オールレザー ¥28,600



サースト エイド キット キャンバス アンド レザー ¥22,000

機能性とデザイン性を兼ね備えた、ライダーのためのハイドレーションバッグ。耐久性に優れたキャンバスとレザーのコンビ仕様で、ライディングジャケットの上から着用でき、体型に合わせてサイズ調整が可能。前面には使いやすいポケットが2つ、背面には大容量の収納ポケットを備えており、ツーリングの必需品を持ち運ぶのに便利です。15リットルのハイドレーション・ブラダ(給水パック)を内蔵し、断熱仕様の給水チューブは、2か所の隠しポケットに収納可能です。



バックパック パニア ¥28,600

バックパック、パニアバッグとしてもご利用いただけるハンドメイドの2way バッグ。素材は昔ながらの手間のかかる製法で完成する堅牢で味わい深いベグタンレザーを採用しています。



サイ バッグ ¥13,200

小さな物を持ち運ぶのに重宝するハンドメイドのレッグバッグ。ベルトをしっかり締めることで太ももに密着でき、あらゆる体型の人にフィットします。メインポケットは、財布やグローブが収納可能。



ブーツ ブルート ¥28,600

コンパクトブーツデザインを基調に、つま先、踵、足首には18mmのモールドを内蔵してライディング仕様に。サイドスライドジッパーによりわずか数秒でシューズの着脱が可能に。またラフな雰囲気のあるレザーは、履きだしから長年の相棒の様な表情で足元を飾り、様々なコーディネートとの相性も抜群のカラーリングで仕上がっています。



ヘルメット ハンガー ¥16,500

ツイン ヘルメット ハンガー ¥24,200  
アンティーク調に仕上げたハンドメイドのヘルメットハンガーのツインモデル。2つのヘルメットが緩衝すること無く収納できるように設計されており、ヴィンテージ感のあるウッドパーツに、丈夫なスチール製のロッドを取り付け、デザイン性の高いレザーのパッド付きトップで仕上げられています。



タンク&テール バッグ ¥17,600

タンクバッグ、テールバッグ、ショルダーバッグとしてもご利用いただける3way バッグ。バッグ本体の背面には6個の超強力マグネットがしっかりとタンクに固定します。



イタリア発のライディングアパレルブランド「Holyfreedom© (ホーリーフリーダム)」の取扱を開始しました。イタリア・パルマで生まれ、モータースポーツ文化とヨーロッパのクラフトマンシップを融合させたブランドです。スタイル、ロマンス、ライフスタイルを追求し、街でもツーリングでもグランプリの観戦でも、その瞬間をクールに彩るアイテムを展開しています。

# HOLYFREEDOM

ベンガリーノ ジャケット ¥13,200

フォルサム フードド シャツジャケット ¥49,500

ジャパン ドリーム スウェットシャツ ¥24,200

エクスプローラー パンツ ¥36,300

グランデュカート ジャージ ¥9,680

ロツソフォッコ ジャージ ¥9,680

ダートトラック セーター ¥24,200

カックル ブラックジーンズ ¥55,000

ビー ケアフル Tシャツ ¥7,700

クルー ブラック Tシャツ ¥7,700

クルー ボトル Tシャツ ¥7,700

ガレージ グローブ ¥11,000

インスト ツールズ グローブ ¥15,400

オレンジ ブラック

Check it!

## Umberto Luce ウンベルト・ルーチェ 一部商品価格改定のお知らせ



メキシコのライディングシューズブランド「Umberto Luce (ウンベルト・ルーチェ)」の一部商品が価格改定となりよりお求めやすい価格にて再展開を行っております。この機会にぜひ店頭でもお試しください。

Check it!



## airhead エアヘッド 価格改定のお知らせ



定番人気のエアヘッドが価格改定となり、お求めやすくなりました。バイクのみならず、自転車用のヘルメットにも最適で、これからの季節に活躍するアイテムです。まだ、未体験の方はぜひこの機会にお試しください。すでにお持ちの方も、2枚目・3枚目として新色の導入はいかがでしょうか。

Check it!



## ハンバーグ師匠 × DEVILOCK Motoriomda 別注アイテム 販売価格改定のお知らせ

6月17日(火)より【ハンバーグ師匠 × DEVILOCK】商品の販売価格を改定いたしました。よりお求めやすく、ラインナップをお楽しみいただけるようになっております。

LUCE 店、神戸店、福岡店の3店舗にて、ハンバーグ師匠コラボアイテムをご覧いただけます。この機会にぜひ店頭へお越しください。オンラインストアのご利用もお待ちしております。

Check it!



フルフェイスヘルメットの開発と共に、記憶に残る数多くのレースシーンで、常に輝いていた「BELL」。発砲ライナーヘルメット「500」の誕生以来、BELL HELMETSは4輪・2輪を問わず、モータースポーツ界で多くのライダーから信頼を得ています。オートバイヘルメットの歴史を語る上で欠かすことのできないブランド。それが「BELL」です。

LIMITED BULLITT ソリッドグロス ピンテージブルー ¥70,400

NEW CUSTOM500 フレックルードピア ¥28,600

NEW CUSTOM500 ソリッドピンテージホワイト ¥26,400

BULLITT ソリッドグロス ピンテージブラック ¥70,400

CUSTOM500 ソリッドグロスブラック ¥26,400

500-TXJ シルバー ¥28,600

500-TXJ トリコロール ¥28,600

500-TXJ フラットグレー ¥28,600

Check it!



独自の世界観を確立するリトニアのライディングアパレルブランド「PANDO MOTO (パンド モト)」。妥協なきスタイリングへの追求、素材から考えられる安全性の確保。それらを組み合わせたうえで最高のモデルをリリースすることがブランドの信念であり、すべての原動力となっています。

エーベックス スニーカー ブラック ¥36,300

マーク ブラック AAA ¥60,500

デザート カーゴ ブラック ¥52,800

ロビー スリム ブラック ¥39,600

M65 WP ジャケット ブラック ¥75,900

ツイン レザー ジャケット ¥83,600

カブト ルナ ¥8,580

ヒモ 03-フルグレイン レザーベルト ¥9,900

Check it!



スタッフコーディネート福岡編

バイクでもクルマでもアクセスOK！ コーディネートにお悩みの方は気さくなスタッフに相談してみよう。

モトリーモダ福岡店はコンテナを連結して作られたというユニークでオシャレな店舗。駅から近く、電車でもバイクでもクルマでもアクセスOK！ コーディネートにお悩みの方は気さくなスタッフに相談してみよう。

バイク好き、クルマ好きなら  
老若男女、誰でもOK！  
楽しんじゃうのが福岡スタイル！！

経験豊富なスタッフがファッションコーデからアイテムのセレクトまでバイクライフをサポート！！

福岡県筑紫野市のJR 原田駅近くにある「モトリーモダ福岡店」は、県道 603 号線沿いにあり、バイクはもちろん、クルマ、電車でもアクセスしやすい好立地にあるモトリーモダ直営店。コンテナを連結して作られたというユニークでオシャレな店舗で、エントランスにはゆったりとくつろげるベンチやテーブルが用意されている。居心地のよい空間づくりで、ツーリングの途中にでも、ふらりと立ち寄れる気軽さがある。

店内はウッドを基調にした落ち着いた雰囲気、ヨーロッパを中心とした国内外のトップブランドを多数取り扱っているのが特徴だ。ブランドの種類、カラー、サイズを豊富にラインナップ。グローブ、シューズ、ヘルメットなどのバイク用品もたくさん取り揃えている。コーディネートに悩んでしまっても心配ご無用。店長の竹山さんは、アパレル畑で培ってきた豊富な知識と経験を活かしたアドバイスに定評があり、特にクルマやバイクのアパレルのことならば得意中の得意とのこと。ちなみに愛車はクルマがフォルクスワーゲン・タイプ1、バイクがヤマハ SR を所有する生粋のモーターリスト。地元では「タケちゃん」という愛称で親

しまれている名物店長なのだそう。「九州という場所はとにかく走るところがたくさんあって、バイク乗りには最高の地。訪れるお客様の目が肥えている方が多いですね。もちろん、ヒギナーでも心配ありません。お客様同士で友達になっている人も多いんですよ」

ユーザーファーストの親しみやすい接客で、それぞれの好みとバイクライフに合わせたコーディネート提案してくれる。「いま旬なのは、カジュアルさと機能性があるイタリアの REPLAY。ヴィンテージテイストのデザインが魅力のポルトガルブランド Maria Riding Company、スペインの高品質デニムブランド El Solitario、あとドイツのバイクアパレルブランド John Doe です。普段着としても使えるカジュアルでストリートっぽいブランドに人気があります。バイクを降りて街を歩いても、サマになる着こなすことができますよ。ガチガチの“ザ・ライダー”みたいなスタイルは、実は私も苦手なんです（笑）。安全に配慮した装備や素材を使っているけれど見た目はカジュアル、愛車にサラッと乗れちゃう着こなしをおススメしています」



Surf 感をプラスした Vintage Casual  
タケちゃん / Shop manager  
エバグリーン キャップ ¥5,500 / HolyFreedom  
レタリング デニムシャツ ¥47,300 / Replay  
グローブ ストレート コンフォート ジーンズ ¥41,800 / Replay

バイクやクルマのある六輪生活を豊かに彩る福岡店のコミュニティ

モトリーモダ福岡店ではモーター好きの個性派スタッフが勢揃い。もう一人の名物女性スタッフのタケコさんも、スポーツカーとヴィンテージバイクに乗るモーターリストで、タケコさん目当てで来店する女性ファンも多いのだとか。

インスタグラム (@motorimodafukuoka) を中心とする SNS での発信も注目のポイント。最新アパレル紹介やイベント告知のみならず、スタッフとお客さんを巻き込んだ、リアルで楽しいモーターライフが数多くポストされている。タケコさんのユニークなコメントも要チェックです。

ショップに集まるモーターリストたちのコミュニティやイベントも盛り上がり、福岡店名物イベント「トコトコツーリング」は、もう5年も

続いているんだとか。「トコトコ」の愛称で親しまれており、店頭と SNS の告知のみでも多い時には 100 台を超えるモーターリストが集うという。

現在は安全面などを踏まえ、事前申込制になっているが、福岡店のお客様（会員登録や購入履歴のあるライダー）であれば誰でも大歓迎！「トコトコ」というタイトルの通り、のんびり走れる親しみやすいツーリングイベントとなっている。春と秋の年 2 回実施されており、今回は第 9 回で、10 月 19 日（日）に開催される予定だ。「常連のお客様が「トコトコ実行委員会」を立ち上げ、手伝ってくださっています。本番まで何度もコースの下見をし、安全なコースや休憩場所を事前に調べてご案内しています。免許取得して間もない方、運転にあまり自信のない方でも、実行委員会のサポートで、安心して安全に走れることを第一に考えています」



福岡店は11月より年末年始以外定休日なしとなります。

竹山店長が力説するとおり、ショップに集うモーターリストたちが手作りでおこなう「走る楽しさ」をシェアするツーリングイベント。バイクのある暮らしをより豊かに彩ってくれる。

## Motorimoda 名古屋店

# スーパーオートバックス NAGOYABAY にオープン決定

この度、モトリーモダでは国内直営店「8 店舗目」となる「名古屋店」のオープンを決定いたしました。東海・中部エリアにお住いの方々にもご来店頂きやすくなり、当店の世界観を直に感じて頂ける「Motorimoda 名古屋店」は、直営店内でも最大の売り場面積を誇るショップとして「SUPER AUTOBACS NAGOYA BAY」にてリニューアル後の常設店舗としての展開が決定しております。

**スーパーオートバックス名古屋ベイ店**

住所：〒455-0021 愛知県名古屋市港区本場町 9-51 2F 営業時間：AM10：00～PM8：30  
電話番号：052-602-5646 定休日：不定休

『宝探し』 文・写真／加賀博文 ツーリングレポート

標高 2172 m、1 台のオートバイが国道最高地点を通過した。1200cc パーティカルツインエンジンを心臓部に抱えるトライアンフだ。いくつかのコーナーをクリアした男性ライダーは、標高 2100m に位置するドライブレインへと愛車を滑り込ませた。

英国ブランドのジャケットを身にまとった彼は、テイクアウェイした紙コップのコーヒーを駐車スペースへと持ち出し、絶望と愛車を眺めながらコーヒーの香りを楽しむ。ライダーにとって至福の時間だ。

「あつ…」

ふと、後方から声をかけられた。振り返ると、ツーリング中のライダーらしい女性がひとり。

「トライアンフ…ですか？」

「はい、俺のトライアンフです」

彼は彼女に向き合いつつ、瞬時に予想した。「かっこいいですね、お気をつけて！」

「ありがとう、きみもね！」

というやりとりを。しかし、彼女は絶景のドライブレインに似つかわしくない戸惑った表情を浮かべていた。

「スマートフォンを貸していただけませんか？」

思いもよらぬ申し出に、今度は彼が戸惑った。「どういこと？」

「実はバイクを走らせている途中でスマートフォンを落としてしまったみたいで…」

「ポケットや荷物の中とかに紛れてない？

番号を教えてください鳴らしてみよう」

「でも…」

「あっ、もちろん発信履歴はすぐに消すよ」「そういう意味ではないのですが…お願いします」

彼女に近付くと、そこには 675cc トリプルエンジンを搭載したトライアンフが…。バイク談議も悪くないが、今はそれどころではない。番号をコールして耳を澄ました。着信音も振動音も聞こえてこない。

「走行中に落としたのは間違いないと思います」

彼女の説明によると、スマートフォンの GPS を利用すれば見つかるかもしれないことだった。自分のスマートフォンを手渡した彼は手持ち無沙汰となり、コーヒーをもう 2 杯買うために喫茶店まで歩いた。彼が戻っても、彼女はまた悪戦苦闘をしていた。

「見つかりそう？」

「地図には表示されているのですが、それがどこかわからなくて…」

端末を覗き込んだが、スマートフォンの所在地を示すマークと曲がりくねった 1 本の線が表示されているだけ。しかも、現在地から近くはなさそうだった。この地図の記憶を頼りに探すことは難しいだろう。彼は紙コップに入ったコーヒーを差し出した。

「これを飲んだら、一緒に探に行こう！」

「実はバイクを走らせている途中でスマートフォンを落としてしまったみたいで…」

「ポケットや荷物の中とかに紛れてない？

1 杯分の時間だけ話をした。「きっかけはトライアンフだったけど、あなたじゃなかったら声をかける勇気は出せなかったと思う」

返す言葉が見つけれない彼は、黙ったままコーヒーを飲みほした。

「そろそろ行こうか」

こうして来た道を引き返すことに。適当な場所までランデブーしては停車し、ポケットから出したスマートフォンに表示されている地図と一緒にのぞき込む。

「スマートフォンホルダーとか使わないんですか？」

微笑む彼女。探し物に近付きつつある中で、気持ちにも少し余裕が生まれてきたようだ。

「きみのトライアンフにも付いてないじゃないか」

「ナビとか、好きじゃないんですよー」

「俺もおんなじだよ、さあ行こうか」

うなずく彼女はなぜか楽しそうだ。走って、停まって、地図を見ながら言葉を交わす。その作業を繰り返すこと数回、ついに探し物の至近距離まで近づいた。

「ここからは歩いて探そう」

振りかえると彼女もすでにサイドスタンドを出していた。道の左右端にわかれて歩くこと数十メートル。「あった！」

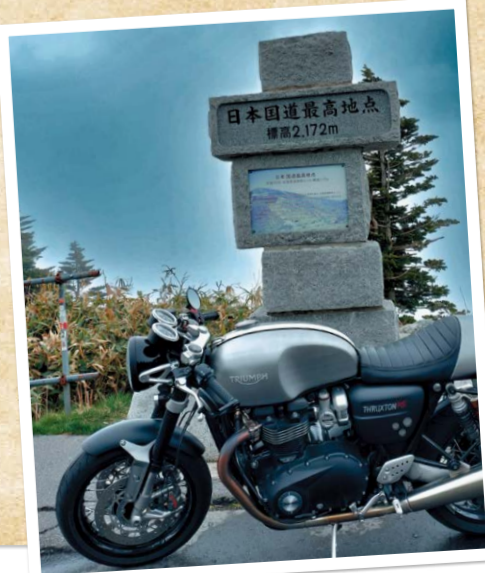
声を上げた彼女はスマートフォンを拾い上げた。使用には問題なさそうだ。ふと、ふたりの目が合った。

「本当にありがとうございました。何かお礼をしたいのですが…。ドライブレインに戻ってコーヒーでもいかがですか？ さっきの分も払いますのでぜひ！」

「いや、いいんだよ。迷宮の中で宝探しをしているみたいで楽しかったし。じゃあ俺はこれで…」

慌ててヘルメットをかぶった彼は、笑顔で手を振る彼女に見送られながら愛車を U ターンさせることなくそのままスタートさせた。走り去った彼の心は、言うまでもなく後悔の念に苛まれていた。

「もう少し一緒に…。ってゆーか目的地は後ろ…進行方向は逆だ!!」



# Motorimoda × Wheel Lover

## ～Wheel Loverを通して広がっていく Motorimodaの世界～

人との出会いと会話を楽しみに日々店舗に立っているというモーターモーダのスタッフ。それはどの店舗も同じ。ユーザーのスタイルは十人十色で、バイクスタイルも人それぞれ。モーターモーダ製品を着こなしているライダーの存在が、スタッフの励みとなり、そして、他のライダーたちにも伝わっていくのだ。リアルなホイールラバーたちを通して広がっていくモーターモーダの世界観。今回はモーターモーダ福岡店に集まったライダーたちをご紹介します。



### 本田誠三さん × Triumph Bonneville T120

バイクで行くキャンプツーリングや車中泊が大好きです!!

定年退職を機に憧れていたトライアンフのボンネビル T120 を手に入れたという本田誠三さん。還暦過ぎて楽しいバイクライフを送っている。「美しい風景を探すツーリングを楽しんでいます。英国車に乗るならやっぱりオシャレしないとネッ♪」ってことで、お気に入りブランドは、超定番ヘルスタッフのトライアルマスターです。コインを羽織るだけで気分が120% 上がります(笑)。気づけばコインを中心にコーデを考えるようになり、ますますバイクファッションの楽しさにのめり込んでます。そんなバイクライフやお気に入りのアイテムをInstagram に投稿しています!!

<https://www.instagram.com/charliehonda/>

### Sunmi さん × KAWASAKI ZEPHYR X

ロングツーリングが大好きです! 日本本土四極踏破が今の目標です!

とにかくバイクが大好きというSunmiさん。所有バイクはKawasakiのZEPHYR X、SuzukiのGSXR1000R、HONDAのGROM125の3台だ。「気分や一緒に走る人で乗り換えていて、どの子も最高のバイクです! YouTubeで【Sunmiちゃんねる】をやっていて、元気モリモリのツーリング動画を公開しています。ぜひみなさんにも見ていただきたいです!!

SunmiさんのYouTubeチャンネルは、現在登録者数1万人を突破! 日本本土の最北端(宗谷岬)、最東端(納沙布岬)、最南端(佐多岬)、最西端(神崎鼻)の4地点すべてを訪れることを目指している。

[https://www.youtube.com/@su\\_n\\_mi98x](https://www.youtube.com/@su_n_mi98x)



### 上健輔さん × Caterham Super Seven

個性的なクルマやバイクが大好き! 愛車で日本一周を実現しました!!

車をこよなく愛する井上健輔さん。愛車はクルマがクータハムスーパーセブン、ミニを2台所有している。その中の1台はイタリアでライセンス生産されたイノチェンティ・ミニというミニアクなモデルだ。ちなみにバイクはヤマハのSRを所有。自他ともに認めるモーターフリークだ。「クルマもバイクも大好きで、6輪生活を楽しんでいます。6月にはスーパーセブンで日本一周にチャレンジして、事故やトラブルもなく、無事に福岡に戻って来ました! バイクはSR400をカスタムして楽しんでいます。これからも、モーターモーダのウェアを身につけて走り続けます!!

<https://www.instagram.com/kensuke.inoue/>

# 56design

## life with motorcycles

独自の感性で紡ぎだされたアイテムの数々。デザイン性もさることながら、MotoGPで培われた確かなライディングテクニックと感性は、ウェアの機能面へもフィードバックされています。また、56design/ファイティックスデザインでは、数多くのラインナップがレディース対応をしており、女性ライダーの方にも多くのアイテムを楽しんで頂けます。

### 2025 年秋冬 新作 EDWIN コラボデニムが入荷

56design (ファイティックスデザイン) から、最新の EDWIN コラボデニムが入荷いたしました。「イモバイザーキーポケット」が、アレンジ採用されており、今季新作の見逃せないアイテムの一つとなっています。ぜひお気に入りの1本を見つけてください。



ワンウォッシュ  
ダメージ  
EDWIN コラボ 3D フィット  
CORDURA® デニム '25  
¥18,920

ワンウォッシュ  
ダメージ  
EDWIN コラボ 3D フィット WILD FIRE  
CORDURA® デニム '25  
¥21,890



### 56design × KUSHITANI

毎回好評を頂いております「KUSHITANI (クシタニ)」とのコラボレーションモデルとなっております。



レッド  
ブルーグレー  
ライティンディゴ  
アッシュブラウン  
ウィンター アクシス ジャケット ¥64,900

ブルー  
シルバー  
チャコールグレー  
ウィンターアーバン ライディング ジャケット EVO ¥59,400



ネイビー×イエロー  
グレー×ネイビー  
ワイン×レッド  
ネイビー×アッシュブルー  
バイカラー ウォーム ジャケット ¥49,500

マットブルー×グレー  
マットレッド×グレー  
マットオーカー×グレー  
クォーター パーカー '25 ¥44,880



グレー×ブラック  
ブラック×ホワイト  
ネイビー×キャメル  
レザー スリーブ メルトン ジャケット ¥59,400

カーキ  
ネイビー  
ライディング  
カバーオール 2  
¥43,890



フランス発の総合ライディングアパレルブランド。レザーを得意とし、ジャケットからグローブ、小物にいたるまで様々なアイテムを展開。ヴァンテージアメリカンなテイストがフランス流にアレンジされ、使用されているレザーやファブリックはまさに「質実剛健」、どんな環境に晒されようともびくともしないタフさを持っています。

# helstons™

A MOTORCYCLE STORY

【 Helstons × Von Dutch 新作グローブ 】



ヴィジョン グローブ ¥14,300  
 ホーク グローブ ¥17,600  
 キー グローブ ¥13,200

ピストライバーとして、アーティストとしてアメリカンモーターサイクルカルチャーへ多大な影響を及ぼした「ケニー・ハワード (フォン・ダッチ)」へのオマージュから、その実の娘たちによりファッションの世界へ飛び出した「Von Dutch (ボン・ダッチ)」が、Helstons とのコラボレーションアイテムとして入荷いたしました。



ファイト ジャケット ¥48,400



ジェームズ ジャケット ¥46,200



スピダー 2 ¥29,700



ツイン ジャケット ¥57,200



ウエスト レザーベスト ¥28,600



モッズ パーカー ¥55,000



ホライズン キャップ ¥7,150



スカル グローブ ¥17,600



ボニー グローブ ¥11,000



ヴァイラージュ エア グローブ ¥15,400



サンダーボルト グローブ ¥11,000



# BELSTAFF

美しいシルエットにこだわりながらも、伝統的なテイストを随所に取り入れ、動きやすいデザインやプロテクション、ベンチレーションなど本格的なライディングのための機能が追求されています。最新のトレンドを取り入れながらも流行に左右されないスタイルで末長く愛用することが可能です。



フェニックス T シャツ ¥8,800



トライアルマスター モーターサイクル ジャケット ¥126,500



トライアルマスター モーターサイクル ジャケット ウーマン ¥121,000



ワックス ドレッシング 200ml ¥6,600



センテナリー ヴァリアント ジャケット ¥297,000



ブルックランズ モーターサイクル ジャケット 2024 ¥107,800



クロスビー モーターサイクル ジャケット ¥99,000



アウトライダー オーバーシャツ ¥70,400



プリティッシュカーキ



1951年イギリスで創設されたモーターサイクルアパレルブランド。納得のゆく素材と技術が手に入るまで探求を続けます。市場に金具が無ければ自社で鍛造製作し、高品質なレザーが無ければ自社で革から鞣します。決して時を優先することなく高品質な製品のみをリリースする姿勢を貫いています。



ゴールドトップ X BSA 1920s スタイル クラシック モーターサイクル レーシング セーター ¥29,700



1920s スタイル クラシック モーターサイクル レーシング セーター ¥28,600



ショートカフ ボーバー グローブ ¥18,700



キルティング カフェレーサー レザーグローブ ¥18,700



フリーライン ウィンドストッパー レザーグローブ ¥19,800



メロンワールド バラクラバ ¥11,000



ガルフオフィシャルライセンスによる、新作のキルティングジャケットやダウンベストをはじめ、ポロシャツ、Tシャツといった新作が各種入荷しました。ガルフのロゴがあしらわれたシンプルなデザインから、映画「栄光のル・マン」を連想させるレーシングストライプがあしらわれたデザインまで、幅広いラインアップとなっております。



ガルフ ストライプ ブルゾン ¥77,000



ガルフ ロードマスター レザージャケット ¥77,000



ガルフ レザー トラベル バッグ ビッグ ¥59,400  
ガルフ レザー トラベル バッグ ミディアム ¥55,000



ガルフ モダン ストライプ ポロ ¥14,300



ガルフ 1901 ポロ ¥14,300



ガルフ シルバーストーン バッグ ¥33,000



ガルフ キャンパス トラベルバッグ ビッグ ¥44,000  
ガルフ キャンパス トラベルバッグ ミディアム ¥39,600



ガルフ キャンパス シルバーストーン バッグ ¥24,200



ガルフ バックパック ¥39,600



ガルフ ボウリングバッグ ¥33,000



ガルフ ショッピングバッグ ¥33,000



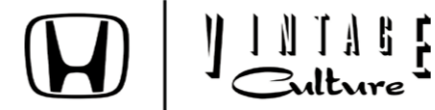
ヴィンテージ ガルフ ステッカー 10 x 12 cm ¥2,200



ガルフ ロードマスター ジャケット ウーマン ¥29,700



ガルフ デニム ブルゾン ¥29,700



思慮深いデザイン、高品質の職人技、細部へのこだわりが詰まった Honda Vintage Culture は、ホンダの豊かなモータースポーツの歴史と革新的な精神を称えるライフスタイルブランドとしてアメリカで展開されています。  
( Official Licensed Product of American Honda Motor Co., Inc. )



1986 ホンダ F1 チーム Tシャツ ¥11,440



1986 ホンダ F1 チーム ジャケット ¥39,600



1986 ホンダ F1 チーム フーディ ¥23,430



1968 ホンダ レーシング フーディ ¥23,100



1964 ホンダ ブランド トリム Tシャツ ¥11,440



1964 ホンダ ブランド Tシャツ レッド ¥11,440



1983 ホンダ F1 チーム ポロシャツ ¥13,640



1983 ホンダ F1 レーシング チーム ジッパージャケット ¥23,430



1980s ホンダ F1 月桂樹 キャップ ¥6,960



1964 ホンダ レーシング レプリカ メカニック ハット ¥10,340



1966 ホンダ レーシング レプリカ メカニック ハット ¥10,340



スウェーデンで生まれたモーターアパレルブランドです。バイクやクルマ、そして飛行機といった無類の乗り物好きであった3人によって設立されました。戦後の栄光の時代からヴィンテージレーシングの精神を取り入れ、その英雄的な時代の伝説を蘇らせるアイテムを制作しています。そのスタイルは道路と空の両方を飾ったユースたちのスピリットで彩られています。



バーシティ レザージャケット ¥99,000



レッド デイトナ レザージャケット ¥99,000



デイトナ レザージャケット レディ ¥69,300



US ネイビー パイロット レザー ジャケット ¥88,000



ダーティ タンク ジャケット ¥55,000



フライング デス パイロット ジャケット ¥36,300



レーシング ドライバー ダブルド フーディー ¥28,600



レガッツォーニ ウィンドプルーフ ジャケット ¥24,200



# Shop Information



## Motorimoda 誕生の地、フラッグシップストア

モトリーモダ 銀座

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-16-6-1F

営業時間 10:00～20:00 定休日: 年末年始 TEL.03-6226-2515

- ・交通機関 JR「新橋」駅(銀座口) 徒歩9分 ・地下鉄「銀座」駅(A3出口) 徒歩11分
- ・都営大江戸線「築地市場」駅(A3出口) 徒歩4分



## 国内最大フロアとオーシャンビュースポット

モトリーモダ 神戸

住所 〒658-0027 神戸市東灘区青木 1-2-34 サンシャインワフ神戸 2階

営業時間 10:00～19:00 定休日: 年末年始 TEL.078-806-8258

- ・交通機関電車でお越しの場合: 阪神電車「青木」駅南へ徒歩10分
- ・お車でお越しの場合: 国道43号線「青木」交差点を海側へ 無料駐車場 850台完備



## クラシカルな雰囲気とくつろぎの空間

モトリーモダ 福岡

住所 〒818-0024 福岡県筑紫野市原田 6-5-10

営業時間 10:30～19:00(平日)、10:00～19:00(土日祝日) 定休日: 年末年始

TEL.092-926-8862

- ・交通機関 JR「原田」駅徒歩1分 ・九州自動車道「筑紫野」ICから約7分



## 大人の秘密基地、Tokyo Westエリアに登場

モトリーモダ ルーチェ

住所 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘 3-2-1

営業時間 10:00～19:00 定休日: 年末年始

TEL 店舗直通: 042-454-5020 \* EC 事業部: 042-443-8567

- ・交通機関京王線「調布」駅徒歩14分 ・中央自動車道「調布」ICから約10分



## 56design を中心とした実力派二輪系ブランドが集結

56design TOKYO by Motorimoda

住所 〒150-8330 東京都渋谷区宇田川町 21-1 西武渋谷 B 館 6階

営業時間 10:00～20:00 TEL.03-3462-3651 \* 祝祭日を除く毎週火、金曜日は店舗スタッフ不在となります。

- ・交通機関 JR 山手線、埼京線、湘南新宿線、成田エクスプレス(ハチ公口)
- 東京外口 銀座線、副都心線、半蔵門線 東急 東横線、田園都市線、京王 井の頭線「渋谷駅」徒歩3分



## 車好きとモータースポーツファン必見の専門店

Pole Position by Motorimoda in A PIT AUTOBACS SHINONOME

住所 〒135-0062 東京都江東区東雲 2-7-20 A PIT AUTOBACS SHINONOME 店舗内 2F

営業時間 9:00～21:00 定休日不定休(施設に準ずる)

TEL.03-3528-0357 (スタッフ直通: 070-1539-5451)

- ・交通機関りんかい線「東雲駅」徒歩約1分
- ・レインボーブリッジ方面: 台場出口から約5分 千葉方面: 有明出口から約5分



## 国内2店舗目となるドライバーズグッズの専門店

Pole Position by Motorimoda  
in A PIT AUTOBACS KYOTO SHIJO

住所 〒615-0051 京都府京都市右京区西院安塚町1 2F カフェスペース横

営業時間 10:00～20:00 定休日不定休(施設に準ずる) TEL.075-326-0055

- ・交通機関嵐電嵐山本線 山ノ内駅徒歩10分 ・阪急京都線 西院駅徒歩14分

### 編集後記

誌面にも予告がありましたが、名古屋店のオープンは私自身とても楽しみにしている今年1番のイベントです。我々が店舗を構えるスーパーオートバックス名古屋ベイが20数年ぶりに完全リニューアルということで、東海エリアのクルマファンにとって胸アツなロケーションになると確信しております。実は当社の名古屋進出は2回目。前回は私の力不足で撤退してしまったので、今回のオープンにはフルスロットルで臨みます!



Michinori Okabayashi

PUBLISHER Motorimoda DESIGN Yasushi Ostuka WRITER Tsugusa Morita PHOTO Hirose Takahisa



SNSでも情報を発信しています。是非フォローして下さい!

11月1日、Motorimoda 名古屋が OPEN!